

教科名	社会	科目名	歴史総合	履修学年	中学 高校	1年	1～7	組		
単位数	2	使用教科書 補助教材等		教科書：山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ』						
担当者	星野真佑子			副教材：山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート』						
	本間裕章			授業プリント等						
学習目標	近現代の世界とその中の日本について、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせつつ、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。									
評価方法										
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。			近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度及び多面的・多角的な考察や理解を通して社会人としての自覚を身に付けるとともに、多様な世界を全体として尊重する態度を身に付けている。				
各観点の評価方法等	考查における知識問題と資料読みとり等の応用問題			考查における資料読みとり等の応用問題（論述問題） グループ協議やペアワークによる意見交換および発表 レポート等		グループ協議やペアワークによる意見交換および発表 レポート等 授業以外での活動や自発的な成果物等				
学期末の各観点比率(%)	30%			50%		20%				
授業計画										
学期	月	大項目・中項目			小項目		時間数	評価区分1	評価区分2	
1学期	4	第Ⅰ部 近代化と私たち			1. 18世紀の世界とアジア 3. アヘン戦争と日本 5. 日本開国期の国際情勢		9時間	1学期中間 考査		
	5				6. 開国後の日本社会 7. 市民革命と国民統合					
		6				8. 明治維新 10. 日本の明治初期の外交 12. 日本の産業革命 14. 日露戦争と韓国併合 いまの私たちにつながる課題		9時間		1学期期 末考査
	第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち			1. 大衆運動の芽ばえ 2. 第一次世界大戦						
	8									
	2学期	9				3. 第一次世界大戦と日本 5. 社会運動の広が 7. アジアの民族運動		12時間		2学期中 間考査
10					4. ロシア革命とその影響 6. 国際協調					
		11				9. 世界恐慌 11. 日本のアジア進出 13. 第二次世界大戦と日本		11時間	2学期期 末考査	
			10. 独裁勢力の台頭 12. 第二次世界大戦 14. 第二次世界大戦の終結							
12		第Ⅲ部 グローバル化と私たち			15. 戦後国際秩序 17. 日本尾戦後改革と日本国憲法 18. 日本の独立 いまの私たちにつながる課題		17時間	3学期学 年未考査		
3学期	1				1. 第三世界の登場 3. 冷戦の展開					
	2				2. 冷戦の固定化と「雪どけ」 4. 5 5 年体制と安保闘争					
		3				5. 高度経済成長の光と影 7. 経済構造の変化 9. アジアの経済成長				
					6. ベトナム戦争とアメリカ 8. 日本経済の大国化 10. 社会主義の停滞と新自由主義					
					11. 冷戦の終結 13. 地域統合 15. 日本の諸課題 いまの私たちにつながる課題					